

## 施策評価調書(23年度実績)

施策コード I-6-(5)

政策体系	施策名	食育を通じた人づくり・地域づくりの推進	所管部局名	生活環境部	長期総合計画頁	61
	政策名	安全・安心な暮らしの確立	関係部局名	生活環境部、福祉保健部、農林水産部、教育庁		

### 【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③
取組項目	食育の普及・啓発	健やかな食生活を実現できる県民の育成	大分の食で創る魅力あふれる地域づくり

### 【Ⅱ. 目標指標】

指 標	関連する取組No.	基準値		23年度			24年度	27年度	目標達成度(%)								
		年度	基準値	目標値a	実績b	b/a	目標値	目標値	25	50	75	100	125				
i	食育に取り組んでいる団体・企業等数(団体・企業)	①	H22	23	32	26	81.3%	42	72								
ii	朝食を毎日食べる児童・生徒の割合(小5)(%)	②	H18	90.6	96	95.2	99.2%	96.5	98								
iii	地産地消キャンペーン参加団体・店舗数(団体・店舗数)	③	H21	314	310	358	115.5%	320	350								
iv	「健康応援団」登録店舗(店舗数)	③	H21	281	278	264	95.0%	309	400								

### 【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理 由 等		平均評価
i	達成不十分	食育人材バンクに登録している団体や企業を指標としているが、実際は食育に取り組んでも登録していない企業があることから、目標値に達していない。今後は市町村と連携して食育人材バンク登録制度の周知をはかり、企業等の掘り起こしをおこなう。	概ね達成
ii	概ね達成	学級通信や懇談会等で呼びかけた結果、99%以上の達成率となった。	
iii	達成	地産地消キャンペーン参加団体・店舗数は着実に増加しており、23年度は目標値を達成している。	
iv	概ね達成	新規登録店も十数店舗あるが、廃業や更新時の辞退により多少減少している。	

#### 【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組No.	評価
①	・おおいたWA-SHOKU運動を展開して、WA-SHOKU女士隊による伝承料理の紹介や食事マナーアップの取り組みを実施した結果、郷土料理の伝承及びマナーアップに一定の効果があつた。
②	・栄養教諭や学校栄養職員が、給食時間をはじめ授業や学校行事等において、児童生徒に食に関する正しい知識やマナー等を指導することにより、食べ残しの減少など食育の効果があつている。
③	・一般県民を対象に県民フォーラムを開催して地産地消の推進をおこない、米粉の菓子・料理の普及拡大が図られた。食生活改善推進協議会に委託して郷土料理に関する教室及び調査等を実施し、伝統料理の継承が図られた。

#### 【V. 施策を構成する主要事業の評価】

取組No.	事業名	事務事業評価		事業コスト (千円)
		総合評価	掲載頁	
①	1 大分の食育推進事業	現状維持	72	27,461
②	1 栄養教諭を中核とした食育推進事業	現状維持	—	4,381
③	1 豊かな県民の食推進事業	見直し(24年度)事業内容の変更	—	17,431
	2 生涯健康「元気な食卓」推進事業	見直し(24年度)事業内容の拡充	—	800

#### 【VI. 主な取り組みの進捗状況・今後の課題】

進捗状況	取組No.「①食育の普及・啓発」について、やや遅れている。	
今後の課題	・これから結婚し、子育てを行う若い世代が朝食を欠食したり、ファーストフードに偏るなど、食生活が乱れている。	

#### 【VII. 施策に対する意見・提言】

○食育推進会議(H23.11) ・大分人材バンクの広報は不十分である。活動を推進していける人と行政をつなぐ交流会や事例発表会などを開催すべきである。	
---	--

#### 【VIII. 今後の施策展開について】

今後の方向性	施策展開の具体的内容
現状維持	・一部地域で行っている若い世代(これから結婚して子育てを行う世代及び現在子育て中の世代)を対象とした食育推進モデル事業を全県下に広めていく。 ・情報伝達をスムーズにするため、食育推進会議事務局(県)がメーリングリストなどを作成し、活動内容等の広報を行う。